

「地域の元気づくり」を推進

兵庫県商工会連合会 会長 志智 宣夫



新年あけましておめでとうございます。令和になり、初めての新年を皆様とともに迎えられることに心より感謝を申しあげます。

平素は、当連合会の事業運営に格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと、国外では、米中貿易摩擦の激化や香港デモなどが起こり、今後も世界経済への影響が懸念されています。

国内においては、豪雨や台風など相次ぐ大規模な自然災害に多くの商工会地域が見舞われました。被害に遭われた地域の皆様の一日も早い復旧・復興を願うばかりです。

また、我々中小・小規模事業者にとりましては、働き方改革関連法案や消費税増税など、新たな政策課題への対応が求められました。こうした中、商工会では、「小規模企業振興基本計画」が改定され、小規模事業者の持続的発展に加え、地域の持続的発展も重要であることが盛り込ま

れました。これに伴い「小規模事業者支援法」が改正され、更なる小規模事業者支援を図るため「経営発達支援計画」並びに「事業継続力強化支援計画」を行政と共同で作成することとなりました。商工会に対する期待の表れであると感じております。こうした状況を受け、当連合会では、「地域・企業の持続的発展に向かって」をスローガンに掲げ、関係機関との連携を取りながら、新たな事業承継への支援、企業BCP策定支援にも取り組んでおります。

本年は、商工会法が施行されて60周年の節目を迎えます。中小・小規模事業者に対し一層の支援体制強化を図り、きめ細やかな「伴走型支援」による「経営発達支援事業」と併せ「地域の元気づくり」を推進してまいります。引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、子年は、成長に向かって種子が膨らみ始める時期と言われています。

会員事業者並びに関係者の皆様にとりまして、益々のご発展とご繁栄の年となりますことを心より祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年新春メッセージ

令和新時代 復興の、その先へ

兵庫県知事 井戸 敏三



新年あけましておめでとうございます。

阪神淡路大震災から間もなく25年を迎えます。この間、国内外の人々が驚くほどの創造的復興をなしとげました。しかし、危機に陥った財政の建て直しに取り組まざるを得ないなど、苦難の連続でした。令和の時代の到来とともに、新たなステージへのスタートを切る環境が整いました。25年の節目を機に改めて原点に立ち返り、震災の経験や教訓を忘れず、伝え、これを活かし、しっかりと備えていきます。

この安全安心の基盤の上に、2030年の展望の具体化を図り、すこやか兵庫づくりに取り組み、未来へのシナリオをしっかりと進めていきます。

第一は、安全安心な兵庫の構築。南海トラフ地震や風水害へ備え、安全な県土を築きます。2025年間

題に対応するための在宅医療・介護体制の充実や地域医療の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第二は、地域の元気づくり。人口流出に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減を縮小する人口対策に取り組めます。次世代産業の創出を支援し、起業しやすい環境を整えます。農林水産業の基幹産業化も推進し、活力ある兵庫をつくります。

第三は、交流・環流の促進。五国の魅力を活かし、観光交流、スポーツツーリズムを推進し、交通インフラの整備を加速させます。三宮再整備や県庁舎の建替などまちの再生を急ぎます。

私たち兵庫は、震災という誰も経験したことのない試練を丸と成って乗り越えてきました。復興のその先の新たなステージでも、課題に対して果敢に挑み、ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現をめざしましょう。

平成から令和へ

新たな時代に
すこやか兵庫を

めざし歩まん

SMBC グループ

SMBC

確実にやるのは
どこでもできる。
確実に速くやるからこそ
「価値」になる。

三井住友銀行

(アイフエオ順)

兵庫信用金庫	姫路信用金庫	播州信用金庫	日新信用金庫	西兵庫信用金庫	中兵庫信用金庫	但陽信用金庫	但馬信用金庫	神戸信用金庫	淡路信用金庫	尼崎信用金庫
--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫 ATM での入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部の ATM は除きます)

年頭にあたって

全国商工会連合会 会長 森 義久



あけましておめでとうございます。
令和初の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は八月下旬に九州北部を襲った集中豪雨、9月から10月にかけての台風襲来など、多くの商工会地域が大規模な自然災害に見舞われました。度重なる災害に対し、国も復旧・復興に向けて取り組んでおり、「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」も発表されました。その支援策が各地域に十分に行き渡り、被災された皆様が、一日も早く元どおりの事業や生活を取り戻せるよう、政府をはじめ、関係機関と連携を密にし、商工会組織をあげて引き続き支援を行ってまいります。

こうした中、商工会には事業者の「事業継続力強化計画」策定支援、商工会自身の「事業継続力強化支援計画」策定という新たな役割が加わりました。また、第Ⅱ期小規模企業振興基本計画には、「事業者の持続的発展と地域の持続的発展」の重要性

が明記され、地域に根差し、中小・小規模事業者に寄り添う商工会の存在価値が、改めて認識されたと感じています。まさに今、国が政策として実施していく内容は、商工会の活動を後押しするものです。

本年は、商工会法施行60周年の節目の年となります。商工会の支援により中小・小規模事業者がどのような経営改善を果たし、その効果がどのように地域経済へ波及しているかなど、支援の成果が問われてまいります。社会的課題や制度面への対応なども含め、「指導」からきめ細やかな「伴走支援」へと支援の形も変化しており、限られた予算・人員で十分な支援ができるよう、組織体制を改めて見つめ直すことも必要であると考えております。

中小・小規模事業者は景気悪化の影響をもっとも受けやすい一方で、景気回復の実感には得にくいため、中小・小規模事業者こそが国の支援施策を享受する必要があります。また、中小・小規模事業者の活力が日本経済の成長につながることは多くの方が意見を一にするところです。私も「会員あつての商工会」の信念のもと、各地に足を運び、現地の声に耳

を傾け、全国100万会員、1652商工会の声をひとつに、全国商工会連合会会長としての責務を果たすべく邁進いたしますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。
終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

令和2年 元旦

1月のこよみ

- 10日 持続化補助金報告書締切
- 17日 つどい阪神・淡路大震災25周年追悼式典
- 21日 県壮青年部新年賀詞交歓会
- 23日 県女性連第3回幹部講習会
- 28日 近畿協 第3回理事会
- 30日 全国連第2回専務理事会議

2月のこよみ

- 3日 ひょうご「まちおこし」支援事業審査委員会

- 12日 労働環境対策事業採択審査委員会
- 13日 若手後継者等育成事業広域商工業振興対策事業採択審査委員会
- 17日 地域活力増進事業採択審査委員会
- 19日 近青連 リーダー研修
- 19・20日 アグリフードEXPO大阪 シーフードショー大阪

3月のこよみ

- 17日 県連正副会長会
- 17日 事業委員会
- 12日 全国連臨時総会
- 25日 理事会・臨時総会

第59回 商工会全国大会

11月21日、東京都・NHKホールで第59回商工会全国大会が開催された。

全国連森義久会長の挨拶の後に、安倍晋三内閣総理大臣、梶山弘志経済産業大臣並びに、関係団体代表等が祝辞を述べた。安倍総理の祝辞では、「地域で頑張っている中小・小規模事業者を全力で応援していくのが、安倍内閣経済政策の確固たる基本方針」との言葉があった。



▲祝辞を述べられる安倍内閣総理大臣

次に、意見表明・大会決議では、中小・小規模事業者が主役の大型経済対策の実施を含めた全6項目が決議され、参加者の賛同を得て採択された。
なお、商工会全国大会に係る兵庫県内の表彰は次のとおり。

中小企業庁長官表彰

- 優良青年部
加東市商工会青年部
- 優良女性部
吉川町商工会女性部
- 青年部功労者
田村 竜二（香美町）

全国商工会連合会会長表彰

- 役員功労者
岩井 美晴（豊岡市）
赤穂 秀樹（南あわじ市）
井本 好則（南あわじ市）
秦 紳一郎（南あわじ市）
杉本 明義（南あわじ市）
- 女性部功労者
井上寿美恵（上郡町）
大城 景子（香美町）
百山 一子（五色町）

優良常勤役職員

- 長谷川健二（豊岡市）
廣岡 智明（豊岡市）
田畑 善延（香美町）
坂中 政貴（香美町）
西村 徹（香美町）
西山 和之（丹波市）
小林 賢一（県連合会）

事業推進優良商工会等表彰 特別枠部門

- 商工会法施行55周年
（会員増強運動）
丹波市商工会
- 共済部門
（会員福祉共済の推進）
福崎町商工会
丹波篠山市商工会
淡路市商工会
（行政順・敬称略）

宍粟市商工会 飯田氏 近畿大会に続き全国大会も最優秀賞に輝く！

去る10月25日、第8回経営支援事例発表近畿大会（会場：京都市・京都タワーホテル）において、最優秀賞に輝いた兵庫県代表・宍粟市商工会 飯田氏が、12月3、4日、全国商工会職員協議会の下期研修会で行われた全国大会（会場：東京都昭島市フオレスト・イン昭和館）に近畿代表として出場した。

兵庫県代表が近畿大会で最優秀賞受賞し全国大会に出場するのは、平成28年度の後藤氏（多可町）を皮切りに、柳氏（加東市）、横畑氏（多可町）に続いて4年連続6回目となる。

県大会終了後から、全国大会を経験した職員からのアドバイスを受け、『何を伝えたいのか』がより明確に分かるようにブラッシュアップし、「オール兵庫」を胸に近畿大会、そして全国大会へと挑んだ。

発表のテーマは「伴走型支援に必要な3つの事〜飯が食べられる創業計画ができるまで〜」とし、過去の経営指導の経験を活かし、時には創業者に苦言を呈しながらも、創業者の思い、夢の

実現に向け伴走型で支援をする必要性とやがては自走に切り替える重要性を伝える内容とした。全国大会は研修会1日目に開催され、近畿大会と同じく発表の順番は最後であった。昨年度優勝した兵庫県代表という重圧と緊張の中、飯田氏は堂々と支援事例を発表した。

審査委員長が、「経営のプロセスは数値。全ての発表にこの要素が含まれ、高次元の支援内容であった。これからは、マーケティング、パッケージそして社名の由来。更に地域や市民、他の企業を巻き込んだ支援がカギとなるだろう」と総評を述べ、そして「満場一致で最優秀賞は、近畿ブロック代表飯田聡氏」と発表した。2年連続3回目の最優秀賞の受賞が決まり、兵庫県下の商工会職員が行う支援への熱さと層の厚さを感じさせた。

情報交換会であいさつに立った飯田氏は、「支援を通じて商工会員から感謝をされる。こんなにも素晴らしい仕事はない。これからも共に頑張りましょう」と述べた。

研修会2日目は、『「伝わるプレゼンのポイント」〜知って欲しいプレゼン術〜』『「絶メシリスト」高崎ブランド・シティプロモーション戦略事業』と題して講演が行われた。



▲全国大会で見事最優秀賞に輝いた宍粟市・飯田氏(中央)と、当日応援に駆け付けた支援先企業 萬まる堂の皆さん

《近畿大会発表者》

和歌山県九度山町	榎本 真治
京都府福知山市	稲垣 江利子
大阪府島本町	山本 順子
奈良県天理市	米田 紀洋
福井県あわら市	松儀 圭司
滋賀県東近江市	村上あおい
兵庫県宍粟市	飯田 聡

《全国大会発表者》

中国ブロック	藤田 輝宏
関東ブロック	莊 しず美
四国ブロック	藤本 祐希
中部ブロック	桑原 悠弥
北海道ブロック	高見 正人
東北ブロック	石川 洋平
近畿ブロック	飯田 聡

(発表順・敬称略)

兵庫県の特産品・ 魅力をPR ニッポン全国物産展

全国連主催による『ニッポン全国物産展』が、11月22日〜24日の3日間、東京・池袋サンシャインシティにおいて開催された。来場者数は延べ10万人を数え、全国328事業者（兵庫県からは、6事業者）が出展し、特産品を買い求める人々で賑わった。



▲物産展の様子

【物産展】

- ① たつの市商工会
- ② 丹波篠山市商工会
- ③ 株式会社やながわ
- ④ 神戸・南京町 大同行
- ⑤ 淡路島ばあむ cafe maru

【フードコート】

- ⑥ 株式会社 八勝 長谷製麺

※④⑤は一般応募

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩いていく、
地域金融機関です。



イベントキャラクター
「ホッピー」

ご融資の相談は
お気軽に“けんしん”へ

■詳しくは窓口へおたずねください。



いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
<https://www.hyogokenshin.co.jp/>



未来を変えていく、健康増進型保険。

 **住友生命** Vitality

住友生命保険相互会社 神戸支社

〒650-0031 神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル7F
TEL:078-391-3229

令和元年度 商工会幹部研修会

県連合会は10月17日、18日、南あわじ市「うめ丸」において、令和元年度商工会幹部研修会を開催した。県内商工会の正副会長等の幹部役員並びに事務局長等職員約120人が参加した。

研修1では、研修開催地である南あわじ市の守本憲弘市長を



▲来賓挨拶をいた
だいた高見淡路
県民局長

講師に招き、「南あわじ市が目指すまちづくり」テーマに、豊富な特産品や地域資源の紹介・島内が一体となった観光施策について・少子高齢化などの地域課題への対応・高齢者の活躍を推進する事業、子育て支援施策、地域活動の推進などの話があり、今後の商工会事業にも活用できる有意義な内容であった。

研修2では、SOMPOリスクマネジメント首席フェローの高橋孝一氏から、令和元年7月

に施行された、中小企業強靱化法を踏まえたBCP（事業継続計画）策定について、事例を踏まえながら説明があった。

研修3では、平成30年度経営支援事例発表全国大会で最優秀賞となった、多可町商工会の横畑昭磨主任の事例発表があり、商工会幹部役員に商工会職員の経営支援の成果を、聞いていただく貴重な場となった。



▲南あわじ市
守本市長

県商工会壮青年部視察研修

10月4日から5日、県商工会壮青年部は視察研修事業を開催した。

本事業は、部員の多様な人脈を活用し、商工会活動の活性化と地域社会の発展に貢献することを目的としており、今回は豊岡市内での企業視察を実施した。

1社目は東海パネ工業(株)豊岡工場を見学。「心と技術で世界に誇るバネ創り」をスローガンに生産される製品の製造過程に目を見張った。



▲研修参加者の集合写真
(東海パネ工業(株)にて)

2社目には、豊岡市の特産であり、その品質を高く認められている「豊岡靱」の企画から製造、販売まで行っている(株)由利を訪問。代表取締役である由利昇三郎氏の案内のもと、工場見学、意見交換を行った。

いずれの企業も豊かなアイデアで事業を展開しており、経営者集団である参加者一同にとって実りのある研修となった。

県商工会女性部連合会 商工会女性部指導者県外交流研修会・幹部講習会等 開催

県外交流研修会 ～商工会女性部全国大会 inしまねに参加～

県女性部連合会は、10月29日～30日に島根県にて商工会女性部指導者県外研修会を開催した。

当県からは68人、全国各地から約2100人の女性部員が集まった。大会では、各ブロック代表6人による主張発表大会が開催され、最優秀賞は、関東ブロック代表・山梨県南都留中部商工会女性部の河内正子氏が受賞した。

2日目は、エクスカージョンで提示された観光名所めぐり、特産品の購入や魅力溢れる観光地を視察することができ、大変実りのある研修となった。

第3回理事会・第2回幹部講習会（視察研修会）

11月19日に神戸市長田区にて、第3回理事会及び役員14人を対象とした幹部講習会を開催した。理事会では提出議案は全て承認され、幹部講習会では婦人靴の製造販売業者であるカワノ(株)にて視察研修を行った。



▲視察研修において、
工場見学を行う
参加者の様子
(カワノ(株)にて)

中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 志智宣夫

中小企業融資
よろず相談窓口

【お問い合わせ先】中小企業融資よろず相談窓口 ☎078-393-3905



兵庫県信用保証協会

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

信用保証に関する相談に限らず、資金調達、既存借入金の借換え等、融資全般に関する相談にお応えしています。詳しくは下記の窓口までお問い合わせください。

令和元年度 チーフコーディネーター 認定者

※行政順〈敬称略〉
令和元年6月1日現在



川西市商工会
古井 伸英



川西市商工会
藤森 薫



川西市商工会
藤原 浩輝



猪名川町商工会
小畑 勇治



吉川町商工会
坪之内康宏



加東市商工会
加藤 幸雄



加東市商工会
柳 隆之



多可町商工会
本庄 尚哉



多可町商工会
横畑 択磨



播磨町商工会
松田 健一



市川町商工会
宮本 浩行



たつの市商工会
栗岡 雅司



太子町商工会
玉越 博充



宍粟市商工会
飯田 聡



宍粟市商工会
藤川 裕司



香美町商工会
井上 剛正



朝来市商工会
水谷 信幸



丹波篠山市商工会
前中 玉喜



丹波篠山市商工会
西村 和真



丹波篠山市商工会
熊野 晴毅



淡路市商工会
仲井 英樹



南あわじ市商工会
富岡 直樹



南あわじ市商工会
神崎 恭司



南あわじ市商工会
大上 兵真

10月31日、11月1日に、チーフコーディネーター研修会を開催した。初日に各種経営支援や法定経営指導員に関する制度概要を学んだ他、宮本チーフコーディネーター(CC)(市川町)が前期CC作成の支援マップの活用事例を発表した。2日目は国から求められている事業継続支援事業の理解を深めるため、BCP(事業継続計画)策定に関する基礎知識について、SOMPOリスクマネジメント首席フェロー高橋孝一氏を講師に迎え、演習を交えながら習得した。

第2回
チーフコーディネーター
(CC)研修会
〈10月31日、11月1日〉

事務効率化のために 商工貯蓄共済システム 操作説明会

県連合会は、11月14日、15日にかけて、兵庫県商工会館、朝来市商工会朝来支所において、商工貯蓄共済システム操作説明会を開催。令和2年4月1日から本格稼働する新システム導入に先駆けた操作説明会に、商工会職員39人が出席した。

まず、「商工貯蓄共済システムに係る事務スケジュール」について、県連合会共済課が説明。続いて「商工貯蓄共済システムの操作方法」について、同システムの開発元である(株)オーイシーの森崎暉氏と下村武之氏からデモンストレーションによる説明があった。

出席者からは「新システム導入により、事務効率化がイメージできた」などの感想があり、導入後は会員サービス向上に努め、制度維持を図っていく。



▲システム操作について説明をする
森崎氏

退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

① 経営者のための 退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

② 掛金は 全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

③ 受取時も 税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能

契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

Be a Great Small.
中小機構

TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

小規模共済

検索

伴走型支援に向けてチーフアドバイザー(CA)連絡会

10月30日、兵庫県商工会館において、第1回チーフアドバイザー連絡会を開催した。

令和元年度に事業計画作成やプロモーション等の支援体制強化のため、新たにチーフアドバイザーに就任された小林氏・川淵氏・福満氏、3人を迎え初めての開催となった。

事務局より、令和元年度上期における派遣実績・相談内容等、またその成果の報告を行った。

チーフアドバイザーからは、指導の現状や在り方等の意見があり、会員事業所の伴走型支援において成果に結びつけられるよう、意見交換を行った。

商工会職員として新たな一歩 ～商工会新任職員研修会～

10月15日、兵庫県商工会館で「第2回商工会新任職員研修会」を開催し、令和元年6月1日以降に採用された新任職員10人が参加した。

午前中は、商工会職員の心構えや事務文書作成等についての研修を行った。午後からは、商工会の組織体系を学び、太子町

商工会の小林主査が商工会等業務について講義をした。

参加者からは、「小規模事業者が減少する中で、会員の方が何を求めているのか、どのようなサービスを必要としているのかを見極めることが必要であると感じた」「太子町商工会の小林主査のように熱い気持ちで業務に取り組みたい」などの感想があり、商工会職員として必要な基礎知識を学ぶ研修となった。



▲新任職員に向かって講義する
太子町商工会・小林氏

フォローアップ研修会

10月16日に中央労働センターで「フォローアップ研修会」を開催し、25人が参加した。

本研修会は、県連合会の天崎主任チーフアドバイザーを講師に迎え、採用から2年目までの職員対し日々の気づきを促すことで、業務改善、提案ができる人材の育成を図ることが目的。

午前中の研修では、自己の強み・弱み・行動傾向を把握・分析し、午後の研修では、これからの商工会職員に求められる行動についてグループワークを行った。参加者からは、「求められる行動をしっかりと考え、会員事業所を支援したい」との感想があった。商工会の将来を担う若手職員が自分自身の立場を理解し、今後の目標を設定する内容の研修となった。

スーパーバイザー派遣事業 上期報告会を実施



黒石 真
スーパーバイザー

今年度から、数多くの支援実績を持つ職員OBの黒石真氏が職員OJTを行うスーパーバイザーに就任。事業承継に係る経営指導員等の支援力向上を図るため、主に若手職員を対象に巡回指導を行い、上半期だけで12商工会、延べ85人の職員が指導を受けた。この成果と課題について情報共有し下半期事業に活かすため、10月2日に県商工会館において報告会を実施した。

【職員研修】

- ・創業支援研修会
- ・経営革新計画策定支援研修会
- ・地域活性化及び経営支援のための助成事業等活用研修会

10月3日に中小企業大学校関西校、10月8日に兵庫県中央労働センターで「創業支援研修会」を開催し、両日計63人が参加した。兵庫県商工会連合会チーフアドバイザーで中小企業診断士の志水功行氏を講師に迎え、兵庫県の起業家支援事業の計画策定支援について学んだ。参加者からは「創業支援の際の着眼点を理解できた」、「今後の事業所に役立つ内容であった」等の感想があった。

1日目はこれまでの経営革新計画事例や新たな価値創造の視点として「SDGs（持続可能な開発目標）」事例等を学んだ。2日目は各グループで経営革新計画を策定し、発表を行った。

また11月13日には、兵庫県中央労働センターで「地域活性化及び経営支援のための助成事業等活用研修会」を開催した。大阪商業大学総合経営学部教授の池田潔氏を講師に迎え、「商工会と地域活性化」をテーマに講義いただいた。また、参加者は「SDGs（持続可能な開発目標）」の考え方を地域振興に取り入れた先進事例を学んだ。



▲「経営革新計画策定支援研修会」において発表する受講者の様子

短信

Goope 概要説明及び 操作研修会（10月21日、10月30日）

令和2年3月末日でサービス提供終了となる商工会員向けホームページ作成支援ツール「SHIFIT」の後継となる「Goope」に関する研修会を中小企業大学校関西校とラッセホール2会場で実施した。

三田市商工会 浦河商工会議所・赤心(株)・浦河町長様がお来会

令和元年11月5～6日にかけ、北海道浦河郡浦河町の浦河商工会議所、赤心(株)、浦河町長の計14人が三田市を訪問。同町との交流のきっかけは、明治時代に旧三田藩士らが設立した「赤心社」という開拓団が北海道を開拓したことに始まります。現在もお、赤心(株)に名称を変更し、引き継がれています。

三田市商工会では、平成16年には青年部が、平成28、29年度には役員が同町を訪問している。これまで特産品の試食会や意見交換会などを実施してきたが、今後も継続した経済交流を行っていききたいとしている。



▲【三田市役所での昆布の花束贈呈】
左から、三田市商工会松原会長、
浦河商工会議所上田会長、森三田
市長、池田浦河町長

稲美町商工会 青年部創立50周年・ 青年同友会創立30周年合同記念事業

10月20日、稲美町商工会青年部は創立50周年記念事業を青年同友会創立30周年記念事業との合同開催で実施した。

記念事業では、記念講演会として、講師に日の出グループ 代表 大西壯司氏(稲美町商工会顧問)をお招きし、「企業経営について」をテーマにご講演いただいた。

その後の記念式典では、多くの来賓を迎え、お祝いの言葉をいただいた。また、記念事業として、昨今日本各地で頻発する様々な災害を受けて、災害による被害を軽減するため、稲美町および稲美町商工会へ発電機を贈呈した。



第31回 (2019年前期) ひょうご・神戸チャレンジマーケット開催

10月8日、神戸市産業振興センターにおいて「第31回ひょうご・神戸チャレンジマーケット」が開催され、販路開拓等を目的として事前審査を勝ち抜いた8社がプレゼンテーション・商談を行った。

■商工会会員発表事業所

企業名	住所	事業名
株式会社 横谷	丹波市	オーダーメイド式「フロアtatami」の開発で新たな需要創出を図る
株式会社 紫光技研	淡路市	水銀フリー深紫外線面光源デバイスの供給体制の構築
GLAMINKA	神戸市	グランピングで集落まるごと再生
アロマデザイン 芦屋	芦屋市	兵庫県産「楠」と天然100%精油のブレンド商品販売

ひょうご・神戸チャレンジマーケットとは？

年2回(前期・後期)販路開拓や資金調達を目的とした企業が、自社のすぐれた商品やサービスについてプレゼンテーションし、バイヤーや販路開拓員・金融機関や投資会社とのビジネスマッチングをする事業。

◆問い合わせ先

(公財)ひょうご産業活性化センター
☎078-977-9072



●令和元年度 新規採用職員の紹介(11月採用)●

兵庫県商工会連合会



なかがわ きよひろ
中川 清央

これまでは国税局で、企業に対して税務調査・確定申告の指導をしておりました。その知識や経験を活かしながら、新しいことにも積極的にチャレンジしていきたいです。

前職で出張が多かったこともあり、ご当地の特産物の食べ歩きが趣味です。兵庫県の特産物に関する知識も習得し、商工会のお力になれるよう精進してまいります。

淡路市商工会



こま い もとひろ
駒居 大拓

前職は、金融機関で、個人・法人のお客様に向けて営業をしておりました。

淡路市という全く知らない地で、初心に戻り、日々勉強していきたいと思っております。また、前職で培った知識を活かし、会員様、地域の皆様にご貢献できるよう努力して参りますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

一ひょうごの中小企業を補償でサポート！一
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする



ひょうご共済
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
兵庫県中央労働センター4階
☎078-361-8080 www.ken-kyosai.or.jp